## 第12号様式 別紙1

氏 名 (法人にあっては名称)	中部電力ミライズ株式会社
住 所	愛知県名古屋市東区東新町1番地

自社等発電所(*1)の 有 無	無			
電気事業の概要	1. 電気事業 2. ガス事業 3. エネルギー関連の機械器具および設備の製造、販売、賃貸、修理、運転および保守 4. 蒸気、温水、冷水等の熱供給に関する事業 5. 電気通信事業法に定める電気通信事業 6. 各種情報の収集、分析、処理、加工、提供および販売に関する事業ならびに広告事業 7. エネルギー利用、環境および前各号に関する調査、エンジニアリングおよびコンサルティング 8. 法人および個人向け各種支援サービスの提供および斡旋 9. 会員向け優待サービスの提供および斡旋 10. 割賦販売法に定める信用購入あっせん 11. 資金決済に関する法律に定める前払式支払手段の発行および資金移動業 12. 前各号に附帯関連する事業			
	年 度	基礎二酸化炭素排出量	把握率	
	前年度実績(2022年度)	1 (千t-CO <sub>2</sub> )	99.85 (%)	
の 状 況				
	年 度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)	
	前年度目標(2022年度)	なし(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	なし (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	
	前年度実績(2022年度)	0.433 <b>※</b> (kg−C0 <sub>2</sub> /kWh)	0.440 <b>%</b> (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	
の量の抑制に関する 措 置 の 実 施 状 況	中部電力グループでは、安取り組むこと、非効率石炭活用すること、再生可能エみを続けることで、地球温プとして、2030年度におりとして掲げています。 (注)記載のCO2排出係数に	を全の確保と地域の信頼を最 を火力電源の調達を見直すと ニネルギーの開発を促進する 温暖化対策に取り組んでまい いて2013年度比▲50%の二酸 は暫定値であり、正式には いら確定値が公表されます(	ともに、高効率火力電源を ことなど、総合的な取り組 りました。中部電力グルー 化炭素排出量の削減を目標 「地球温暖化対策の推進に関	

- \*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。 \*2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(基礎二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量 (電気供給量) で除したものをいう。
- \*3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したものから、電気事業者が 排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する 措置の実施状況

年 度	再生可能エネルギ	-発電量(*4)	再生可能エネルギー	導入率(*5)
前年度目標(2022年度)	なし	(千kWh)	なし	(%)
前年度実績(2022年度)	0	(千kWh)	0.00	(%)

(措置の実施状況)

自社等発電所(自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有 する発電所)は保有しておりません。

電気の供給における 再生可能エネルギー の利用の拡大に 関 実 施 状

する措置の調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する 況|措置の実施状況

年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
前年度目標(2022年度)	なし (千kWh)	なし (%)
前年度実績(2022年度)	94 (千kWh)	4. 25 (%)

## (措置の実施状況)

他事業者との連携も視野に入れて積極的に開発を行っています。

- ・固定価格買取制度(FIT制度)の買取期間満了を迎えるお客さま向けの買取サービスや、お客さまの店舗 や工場等の屋根をお借りし太陽光発電による電気をご利用いただける「オンサイトPPAサービス」やお客さ ま敷地外の専用発電所から電力系統設備を介して再エネをお届けする「オフサイトPPAサービス」等の低炭 素に繋がる新しいサービスを提供しています。
- ・脱炭素社会の実現向け、お客さまのニーズに寄り添ったCO2フリーメニュー等の地産地消サービス等、新 しいサービスを提供してまいります。

電気の供給における 未利用エネルギー 割合の拡大に関する 措置の実施状況

(\*8)による発電量の|廃棄物等の未利用エネルギーを利用して発電した電力を調達してまいりました。

火力発電所における 熱効率の向上を図る ための措置の 実 施 状 況

当社は火力発電所を保有しておりません。

本市の区域内に 存する電気の需用者 に対する地球温暖化 の防止に資する取組  $\mathcal{O}$ 実 施 状 況

月使用量及び前年同月値との比較を棒グラフと表にて情報提供するなど、需要家さまに省エネ意識を向上頂けるようサービスの提供しておりま

- ・家電製品 (LED、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、コンセントフラグ等) の省エネ豆ちしきの情報提供や、使用方法の工夫による削減量・額の 目安を提供しております。
  ・気温の状況や自社アンケートにより入手した顧客属性情報を基にした、類似のお客さま群との使用状況に関する比較情報を、毎月の電気使用
- 量に関する省エネ分析レポートを作成し当該レポートと合わせて、省エネアドバイスに関する情報を提供しております。
  ・エコキュートの省エネ性と、ZEH・ZEH補助事業に関する情報の提供や、エコキュートなどのオール電化機器の購入キャンペーンに関する情報をメールマガジンで提供しております。
- 電気の使用量が需要家の設定値に達し
- ・オフィス内での省エネ・節電の取組みを行っております。

その他の地球温暖化活動を行っております。

- ・中部電力グループとして、流水の清潔の保持や地元企業と連携し森林保護の活動や、川岸・海岸の清掃
- の防止に貢献する。環境に配慮した行動が自発的に出来る人材を育成するべく、次世代層に対する教育支援活動の展開や、 取組の実施状況地元大学と産学連携を結び、エネルギー環境教育による環境研究・活動および実施を行っております。
  - ・CO2削減のための研究(温水ヒートポンプ、超コンパクトモジュール型ハイブリッド熱処理炉、スマート ハウス等)を行っております。
- \*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー(太陽光、風力その他非化石エネルギー のうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの)による発電量のうち市内分をいう。
- \*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。
- \*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所に おける再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分 をいう
- \*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。
- \*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物(バイオマスを除く)の燃 焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。